

## CHI カンファレンスにおける活動と個人的な傾向と対策

樋口 啓太<sup>†</sup>

ACM CHI カンファレンスは Human-Computer Interaction 分野における最も規模の大きい国際会議の一つであり、最も論文が多く引用されている論文の発表媒体でもある。発表者はこれまで CHI で 5 回ほど登壇発表を行い、そのうち 3 回 (CHI2015-2017) は Full Paper として論文が採択された。本発表では CHI での発表論文の紹介にとどまらず、これまでの経験に基づき CHI に論文を投稿する際における傾向と対策や、研究や論文執筆に役立ったリファレンスを紹介する。

---

<sup>†</sup> 東京大学